

次世代へ引き継ぐ森づくり

古事のおくりもの森づくり活動

一月一日（土）に、愛媛森林管理署管内のサル谷山国有林（愛媛県久万高原町）に設定している※「伊予之三名島古事の森」で、平成30年度の整備事業を実施しました。

この古事の森活動は、平成一九年度に締結された「伊予之三名島古事の森育成協議会」との協定に基づき、松山城や道後温泉本館など木の文化を象徴する伝統的な木造建築物の修復材を安定的に供給するための取組です。

当日は、一般公募による参加者一四名を含む一八名で、歩道の刈り払いや取り外した植生保護管（ヘキサチューブ）を林道まで運び出す作業等を実施しました。（写真上）
現地は、石鎚山系の中腹で、紅葉も見頃を迎えていました。参加して頂いた皆さま、ご苦労さまでした。（写真下）（※古代において、四国を伊予之三名島と呼んだ）。



木に触れる、森に親しむ こうち山の日「キッスフェス」

11月18日（日）に、高知県立森林研修センター情報交流館において、「こうち山の日」森林研修センター祭 キッスフェスが開催。このフェスは、多くの子どもたちが木や森、自然に親しむためのイベントです。（写真左）局から、クリスマス用のドアノブ（写真右）作りなど木のおもちゃ体験コーナーに参加しました。来場者は1,300名と大いに盛り上がりました。当日までの準備を含め、協力をいただいたボランティアの皆さま方に感謝します。



【編集後記】

平成30年も師走に入り、寒さも一段と厳しくなりました。この季節、毎日の体調に留意、あわせて風邪対策も十分に、成年を乗り切りましょう。

森林ふれあい・森林保全部門で受賞 平成30年度 業務研究発表会

11月29日（木）林野庁において、平成30年度国有林野事業業務研究発表会が開催されました。

四国局から、以下の3部門に3課題を発表した結果、森林保全部門で林野庁長官賞、森林ふれあい部門で日本林政ジャーナリスト賞を受賞しました。

森林技術部門

四万十森林管理署

「繊維ロープを使用した集材研修会後の検証について」

酒井 克馬 西村 知己（四万十署）

森林ふれあい部門

愛媛森林管理署（日本林政ジャーナリスト賞）

「森林官による地域活動について～小田を任せ、小田に意気る～」

野村 祐樹 水田 英司（愛媛署）

森林保全部門

安芸森林管理署（林野庁長官賞 優秀賞）

「くくり罠を用いたシカの効率的な捕獲方法の検証」

武市 泰典 小杉 陵太（安芸署）

発表された皆さま、ごくろうさまでした。